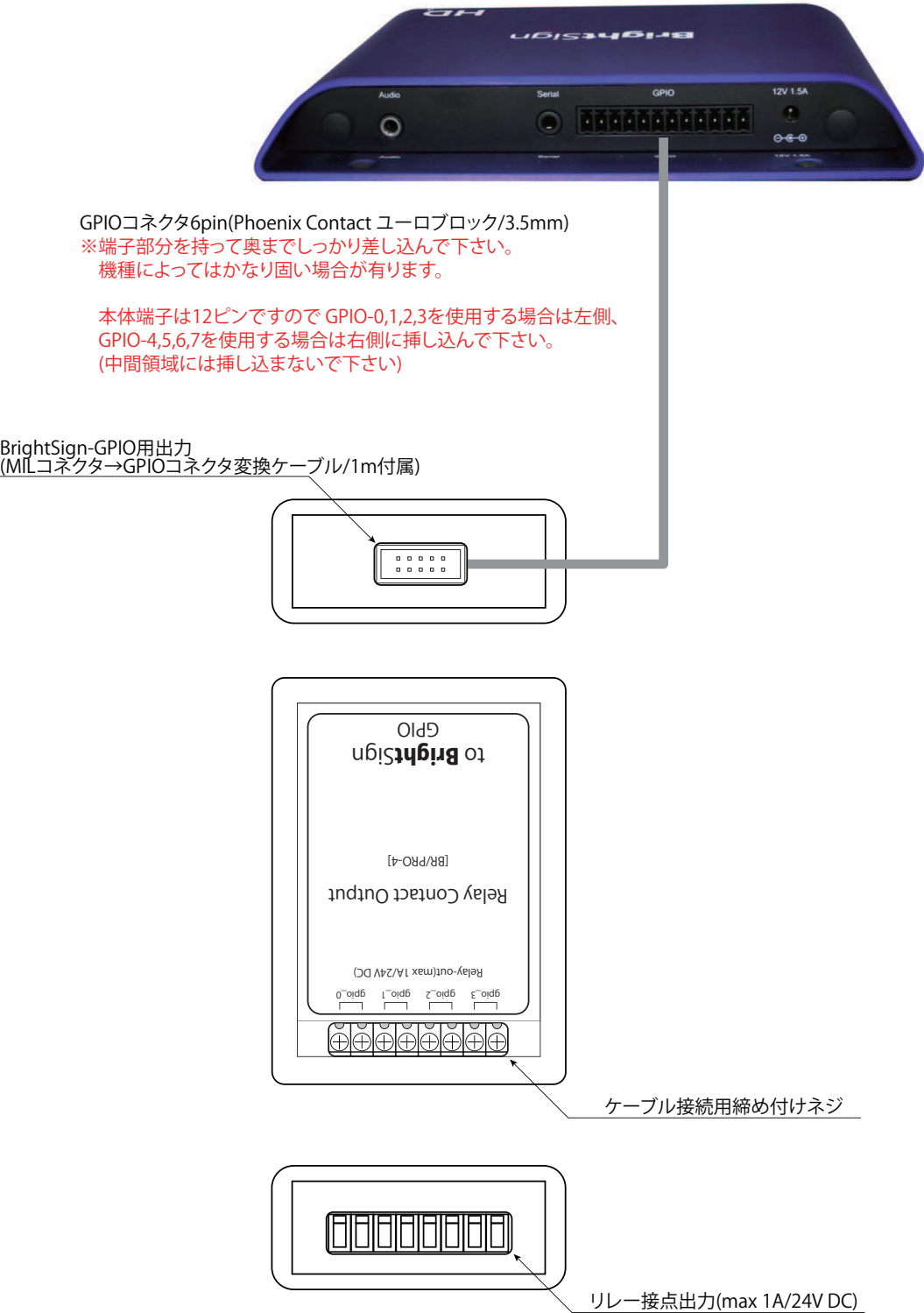


●各ユニット接続図
(全ての結線接続を確認してから電源を投入して下さい)



GPIOコネクタ6pin(Phoenix Contact ユーロブロック/3.5mm)
※端子部分を持って奥までしっかり差し込んで下さい。
機種によってはかなり固い場合が有ります。

本体端子は12ピンですので GPIO-0,1,2,3を使用する場合は左側、
GPIO-4,5,6,7を使用する場合は右側に挿し込んで下さい。
(中間領域には挿し込まないで下さい)

BrightSign-GPIO用出力
(MILコネクタ→GPIOコネクタ変換ケーブル/1m付属)

ケーブル接続用締め付けネジ

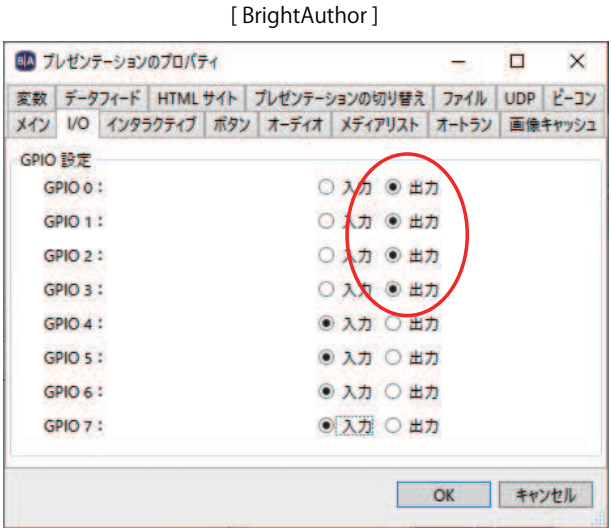
リレー接点出力(max 1A/24V DC)

※端子は各々の回路、BrightSign側の端子とは電氣的に独立しています

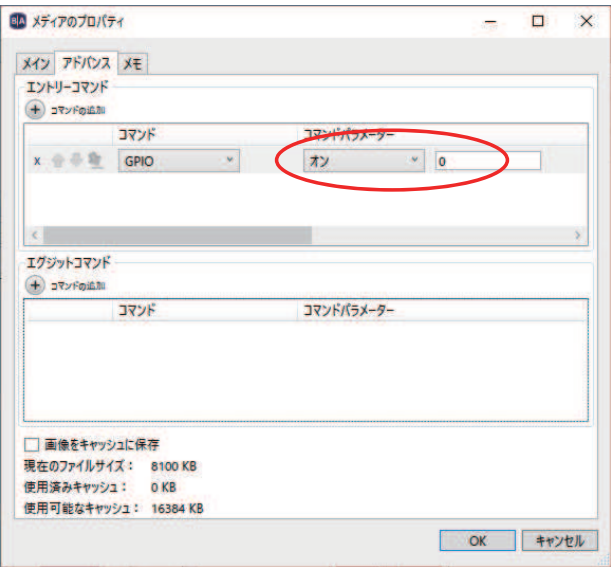
●BrightAuthor設定

コネクタ接続状況に合わせて GPIO-0,1,2,3を出力または GPIO-4,5,6,7を出力に設定します。
オーサリングは "GPIO"→「ON」で接点出力が「ON」になります。
BrightSignの電源が入った直後は "GPIO"→「OFF」でも出力端子は "High(3.3V)"となりますが
本機は回路側で対策してありますので接点出力が不要に "ON"になる事はありません。

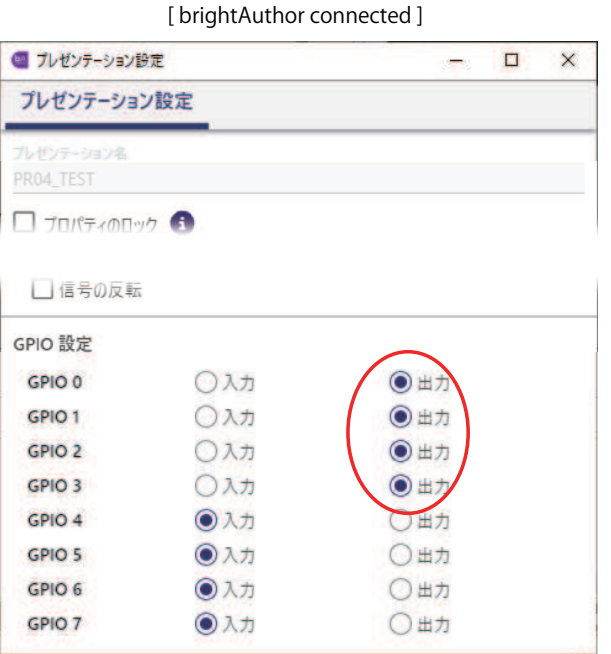
GPIOの各ポート番号の割り当て



[ファイル → プレゼンテーションのプロパティ → I/Oタブ]を
上記の様に(GPIO-0～3 : 出力)等に設定して下さい



リレー接点をON/OFFする場合は [メディアのプロパティ → アドバ
ンスタブ]等で“コマンドの追加”からイベントを追加し、“GPIO” →
“オン/オフ”を選択後各 GPIO-0～3 等への出力設定をして下さい。



[プレゼンテーション設定 → インタラクティブ → GPIO設定]を
上記の様に(GPIO-0～3 : 出力)等に設定して下さい



リレー接点をON/OFFする場合は [メディア選択 → 状態プロパティ
→ 詳細]等で“コマンドの追加”からイベントを追加し、“GPIO” →
“オン/オフ”を選択後各 GPIO-0～3 等への出力設定をして下さい。

Version	2.3b	図面	接 続 図	製品型番	BR/PRO-4
Date	01/05/2026	材料	本体ABS樹脂	ジャパンマテリアル株式会社	
単位	mm	カラー	ブラック		